

インドの EV、ハイブリッド電気自動車市場分析（2017～2030 年）

【概要】

政府の取り組みやインセンティブの増加、電気自動車（EV）への関心の高まりで、2030 年のインドでの EV 販売台数は約 200 万台になると予測されます。本調査では、トレンドのリサーチ、分析、予測を実施し、EV・ハイブリッド車の市場概況と、そのトレンドが主要 OEM の成長と業績に与える影響について説明します。対象は乗用車市場になります。各 OEM およびサプライヤーと、それらの製品戦略を分析し、成長予測、充電ネットワーク展開の予測、資金調達分析を提示します。具体的には、自動車パワートレイン市場の今後のシナリオと其中での EV の役割、EV・ハイブリッド車市場を牽引する OEM、EV・燃料電池ハイブリッド車（FHEV）の今後の技術や市場のロードマップ、2025 年に向けた各 OEM のポジショニングと EV・FHEV 戦略などが含まれています。

【内容一覧】

エグゼクティブサマリー

調査範囲、目的、背景、手法

定義とセグメンテーション

インドの電気自動車とハイブリッド車のエコシステム

インドの電気自動車とハイブリッド車に対する支援策：法規制の枠組みと優遇措置

- 政府の取り組みの概要
- ディーゼル車の禁止と電動モビリティへの注力
- NITI Aayog：電化政策（2030 年）
- FAME India：ロードマップ（2015～2020 年）
- 主要な試験・認証機関

予測とトレンド：2017～2030 年：シナリオ分析

充電インフラの開発：課題と取り組み

- 公共充電スタンドと EV/HEV Parc の数を比較
- EV 充電インフラの開発
- 主要国とのエネルギー価格ベンチマーク
- 充電インフラビジネスモデル
- インドにおけるスマートグリッドの導入
- スマートシティへの投資
- インドの再生可能エネルギーの将来
- 充電インフラの標準化
- 広く採用される CHAdeMO 充電
- EV 充電スタンドの潜在的なビジネスモデル

バッテリー開発：課題と取り組み

- 部品のコスト比較
- リチウムイオン電池のコスト内訳
- バッテリー価格動向分析

- リチウム電池製造および技術への政府投資
- リチウムイオン電池の生産と技術への民間投資
- パワートレインの複雑さとコストの比較分析

48v のマイルドハイブリッド：ギャップ解消

- 48v の需要：排出規制
- 48v のシステムと xEV の比較ベンチマーク

主要な OEM の活動

- 主要な OEM の販売シェア（2023 年と 2030 年）
- 主な OEM の注力活動（2023 年）
- 主な OEM の注力活動（2030 年）
- 現在と今後予定されるモデルのラインアップ
- Maruti Suzuki 社
- Hyundai 社
- Mahindra Electric 社
- Tata Motors 社
- Nissan 社

インドの EV・ハイブリッド業界：サプライヤー

- Sun Mobility 社：充電インフラに注力
- Bosch 社：包括的なソリューション
- Continental 社：48v とフルハイブリッドに注力
- Delphi 社：48v とフルハイブリッドに注力
- その他の潜在的なサプライヤー
- 部品サプライヤーの機会
- Mahindra Electric 社：ナグプールにおける Ola Vehicle プロジェクト

成長機会と企業への提言

結論と今後の見通し

付